

惠商店

島田田之助(平安寺警察部長) 同上
今村楠一(忠清北道警察部長) 同上
陳軍吉(清海警察部長) 同上
野清成(憲兵隊附一等軍醫) 一昨日
京金澤旅館
▲本館直三郎(同上) 同上
杉野直三郎(同上) 同上

▲森本策重(同上) 同上
▲杉野直三郎(同上) 同上

▲早起して井戸端に洗顔を母に思はるは非仙千代のつゝ取らん黄小葉の

▲古來 早起は手に金を握るの諺あり
殊に心地よし庭の草花の露を帯る風情
▲真昼 も暑しと雖も快事あり流汗淋漓

夫の如し之が奏効すれば桂内閣は尤も
▲伊公を口説き落すに妙を得たる桂

内●桂内 任を移さず此宣言にて藏相專任問題
園 閣は揃ひも揃ふて勉強家のみ
平田小松原大浦の如きは車輪に成て謝

を隅から隅迄徹し小氣味よく事務を指
▲小松 原文相に至ては七時登省四時

五 一 四

▲大韓 毎日申報國粹保全説を掲ぐ甚だ
積千萬由來韓國の國粹は何者なりやウー
▲國粹 は兩班が將たパランヌ外交がサ

●片々の寡聞なる未だ韓國に保全す
●國粹あるを聞かず願はくば之を聞くを
●韓國 華太閤の筑路は丘を用ひし

●中央 亞洲の阿布汗斯坦にては男女
交を離別する藥に蛙の黒燒を使用すと

雄蛙の蛙を背合にして之を黒焼にして
掛れば如何なる濃密の情交も断絶すど
日本でもの黒焼を惚れ薬に用ゆ同

蛙を背合にして之を黒焼にして如何なる濃密の情交も斷絶すといふのも、黒焼を惚れ藥に用ゆ同

省

原因は姉姑から▲加害者は其境にて自殺す▲被害者は助かる

時は一昨夜九時過ぎ人の往來の稀なるが如き意町三丁目五十六番戸口入業中島キナ方に於て女房新りの慘劇こそ行はれたり今其模様を記すれば

▲被害者は和歌山縣和歌山市三輪崎

さには用捨は出来ぬと菊代を打擲するより菊代は堪り兼ね其境を逃れて口入屋に至り隠れ居りし所に暫くして嘉太郎は御免と云つて這入り來り店先きにて二人は何事か話して時々は笑ひ聲さへ聞へたる位なるにぞ中島方にては別段氣にも止めず他の客と口入のことに就て相談し居りしに嘉太郎は此時被意を起したるものと見へ菊代を奥の三疊の點せざりしたる壹岐丸は航頭危機一髪のに漁舟を認め全速力を以て後進を試みし急機の一刹那竟に衝突し船体を兩斷して没し乗組員は海中に飄落せしも直ちに救せざるを以て生命には別儀なく破船は此れ赤濱濱に引揚げたるが壹岐丸は何等の害なかりき

●京仁龍左官業組合
同組合は去る

五日

會社
しな
迄の事
○景品引替は京仁麥酒販賣組
合事務所及各特約店にて仕候

電話開通二七三番

[illegible]

